

令和4年度 図書館評価結果

	2022 目標 R4年度	2022 実績 R4年度	2021 実績 R3年度	2020 実績 R2年度	2019 実績 R元年度	2018 実績 H30年度	取組の方向	取組予定	図書館 内部評価	
1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 ー資料・情報提供機能										
①貸出と閲覧サービスの充実										
ア	人口一人当たりの貸出冊数(たちばな号含む)	4.94	4.80	4.94	4.34	4.07	5.17	選書、PRの工夫	利用者の増加や満足度の向上につながるよう、各種資料の充実およびテーマ展・おはなし会などの企画の充実のほか、図書館に関する広報に努める。	C
イ	予約数	44,871	42,162	44,871	38,265	30,917	42,571	PRの工夫		
ウ	大活字本、点字資料等の受入冊数	34	39	34	61	5	34	積極的な選書		
エ	外国語書籍の受入冊数	46	23	46	42	9	28	積極的な選書		
オ	実利用者数	10,733	11,066	10,733	10,846	12,375	13,883	選書の工夫		
カ	新規利用登録者数	2,034	1,964	2,034	1,963	1,872	2,067	選書、PRの工夫		
キ	利用者アンケート9-②(読みたい本があったか)の平均	-	3.5	-	-	-	3.4	選書の工夫		
ク	資料受入冊数	13,696	14,184	13,696	13,269	4,298	14,354	予算の確保、適切な選書		
ケ	たちばな号の利用者数	4,124	4,102	4,124	3,541	4,074	4,037	ステーションの位置検討		
コ	たちばな号の貸出冊数	26,579	26,540	26,579	23,140	26,918	26,864	選書の工夫		
②レファレンスサービスの充実										
ア	レファレンスサービスの件数	165	116	165	180	271	311	PRの工夫	新型コロナウイルス感染防止対策として、短時間のレファレンスはその場で行い、時間を要するものは改めて回答するなど工夫しながら対応する。 職員研修は、休館日を利用して実施する。 外部研修への参加者数は予算と人員配置の制約もあるため、可能な範囲で参加者数を維持し、自己研鑽および伝達研修を行うよう取り組む。	C
イ	職員研修の実施回数	2	2	2	1	1	2	職員研修の充実		
ウ	外部研修(県立図書館等主催を含む)の参加者数	10	17	10	6	6	15	各種研修への積極的な参加		
③暮らしに役立つ情報の提供										
ア	テーマ展示の実施回数	37	43	37	32	27	30	PRの工夫・YAコーナーの充実	テーマ展示実施回数は、テーマに即した展示期間を設定しながら開催する。 中学生の利用者数は、中学生にとって魅力ある図書の入入れや展示方法の工夫などを行う。	B
イ	中学生の利用者数(実利用者数)	633	634	633	623	754	850	魅力的なテーマ展示の実施		
④インターネットによる情報の発信										
ア	お知らせ、行事案内のホームページ掲載回数	65	120	65	55	43	59	積極的な情報発信	ホームページについては、市民が知りたい情報や来館につながる情報をタイムリーに提供するようにする。 広報ひこね等へ行事案内などの掲載に努める。 報道機関へは、広く市民に周知したい情報の積極的な提供に努める。	B
イ	広報紙の掲載回数	15	20	15	21	33	74	積極的な情報発信		
ウ	報道機関情報提供の回数	7	21	7	12	4	8	積極的な情報発信		
2 歴史あるまちとして、郷土の文化を守り伝える図書館 ー資料収集・保存・支援機能										
①資料収集・受入・整理										
ア	郷土資料の受入冊数	662	396	662	386	482	753	適切な選書	郷土に関する資料の選書やホームページ等に自治会等で編集された資料の受入れを周知する。	C
②資料の保存・活用										
ア	資料の展示・公開回数	-	1	0	0	0	0	資料の整理	資料展示を行うために、所蔵資料の整理を進めるとともに、専門的な知識を有する文化財課職員との連携を図る。 舟橋聖一顕彰青年文学賞への応募数の増加を図るため、従来の広報のほか、市ツイッターや応募期間に合わせたテーマ展の開催など、広報の方法をひろげる。	C
イ	古文書・貴重資料の調査・研究の対応回数	59	59	59	68	63	51	職員研修の充実		
ウ	舟橋聖一顕彰青年文学賞の応募数	40	33	40	39	25	53	PRの工夫		
3 子どもの健やかな成長と豊かな心を育てる図書館 ー学びの場の提供										
①子どもの読書活動の推進										
ア	学校への団体貸出数(小・中・高)	1,214	1,305	1,214	3,738	4,375	1,488	学校へのPR、貸し出しリストの作成	学校と協議を行う機会などを捉え、団体貸出の積極的な活用を促す。 新型コロナウイルス感染症感染対策として、小規模な参加者数での実施となるが、館内やホームページ等での開催案内を行う。 ブックスタート事業や読み聞かせ会などの機会を捉え、登録者数の増加に努める。	B
イ	読み聞かせ、ブックトークの参加者数	118	271	118	89	488	122	実施の検討・準備		
ウ	未就学児の登録者数(6歳以下)	727	726	727	742	769	840	ブックスタートでのPR		
②子育て関係機関との連携										
ア	読み聞かせ参加ボランティア人数(延べ人数)	-	118	15	18	18	20	ボランティアの育成	読み聞かせボランティアに対する研修を実施する。 健康診査の方法変更に伴いブックスタート事業も見直しを行ったが、読み聞かせ会への参加を積極的にPRする。 ※令和4年度から評価指標を変更。(変更前 ア 読み聞かせボランティア数 イ ブックスタート事業の推進)	C
イ	ブックスタートのつどい参加組数	-	33	-	-	-	-	ブックスタートでのPR・利用者の開拓		
4 心のやすらぎを与える居心地の良い図書館 ー滞在型図書館の機能										
①やすらぎのある図書館づくり										
ア	利用者アンケート9-③(居心地)の平均点	-	3.3	-	-	-	3.4	居心地の良い空間づくり	新型コロナウイルス感染症感染防止のため、椅子等を一部撤去するなどしているが、利用し易い環境づくりなどに努める。 接遇の研修を行い、利用者満足度の高い対応ができるようにする。	B
イ	利用者アンケート9-④(職員の態度)の平均点	-	4.4	-	-	-	4.2	接遇の向上		
②居場所としての図書館づくり										
ア	利用者アンケート7(滞在時間)の平均	-	26.7	-	-	-	43.0	滞在時間が延びる工夫	テーマ展示の開催など館内に回遊性を持たせた開架スペースとするなど、ゆっくりと図書を選べる環境づくりに努める。 来館者数は、主催事業やテーマ展示のPRに努めるほか、資料の充実にも努める。	B
イ	来館者数	222,449	252,638	222,449	179,648	138,854	187,956	魅力ある図書館づくり・利用者の開拓		
5 市民の活動・交流を通して、新たな出会いを発見できる図書館 ー活動支援機能										
①多目的な活動を支える場所の提供										
ア	集会室の利用数	78	113	78	57	123	204	利用条件の整理	集会室の利用は、第1集会室のみとなっているが、図書関連ボランティア団体等が活用されるよう取り組む。 図書館主催行事には、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた開催とする。 学校関係者へ学校に研究発表場所として図書館を利用してもらえるよう機会を捉え行う。	B
イ	図書館主催行事の開催数	18	29	18	12	21	12	イベント内容・対象の研究		
ウ	学校と連携した学習と研究発表場所の提供回数	1	0	1	0	0	0	学校との連携を検討		
②図書館に関わる各ボランティア団体との連携と協力										
ア	ボランティア団体との連携回数	4	5	4	1	3	5	各団体との意見交換の実施	各団体の紹介をボランティア希望者に行う。 地域文庫については、活動支援のほか新規立ち上げの文庫にはサポートを行う。 ※令和4年度から評価指標を変更。(変更前 イ 図書館ボランティア数)	B
イ	図書館ボランティア参加人数(延べ人数)	-	118	15	18	18	20	各団体の活動紹介に協力		
ウ	地域文庫数	13	11	13	13	12	11	新規立ち上げ、継続活動への支援		